

# 陸上養殖とブルーカーボンの 一体化事業に向けてご提案

- ジャパンマリンポニックス(株)は常に新しいことにチャレンジしていきます。

海藻を培養してブルーカーボンを生産する

海洋環境の悪化によって、海藻が激減し魚介類が危機に瀕しています。完全閉鎖循環型の長所を生かす内陸部での海水魚と海藻の一体型養殖システムの提案です。養殖魚からの排泄物で海藻を育てる、循環型のブルーカーボン生産システムです。

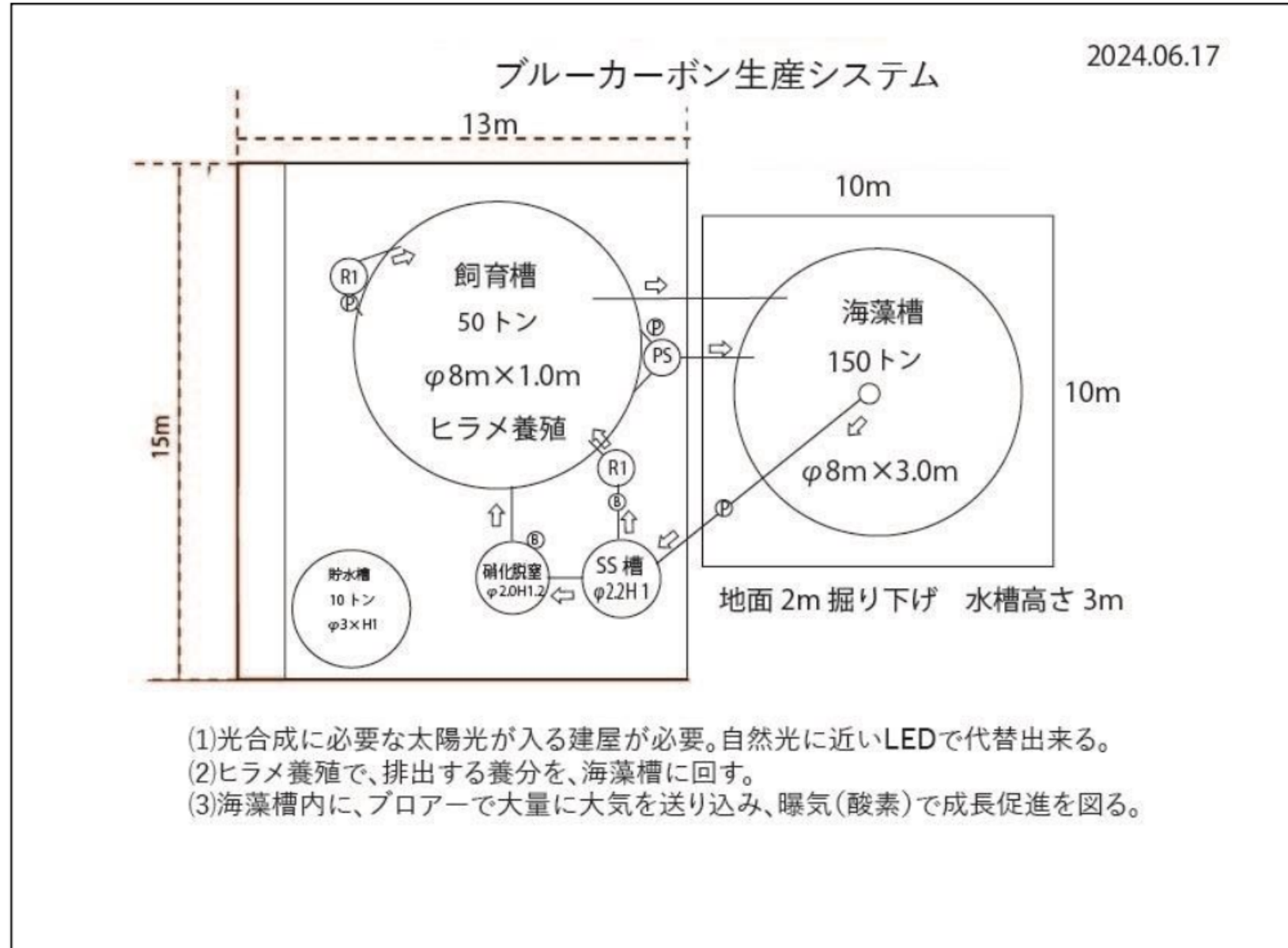
- (1) 弊社は閉鎖型陸上養殖設備の製造・販売を行っています。
- (2) 種苗生産にも取り組み、ヒレナマス、マサバ、ヒメマス、オニテナガエビで実績があります。
- (3) 飼料代の高騰に伴い、魚粉中心の飼料から人間の食用以外の原料を活用した飼料の開発をしています。



- (1) 廃棄物の魚のアラや死魚を冷凍保存しておき、解凍して高温でペレット化します。
- (2) ヒレナマズ専用さばき機で10人力です。

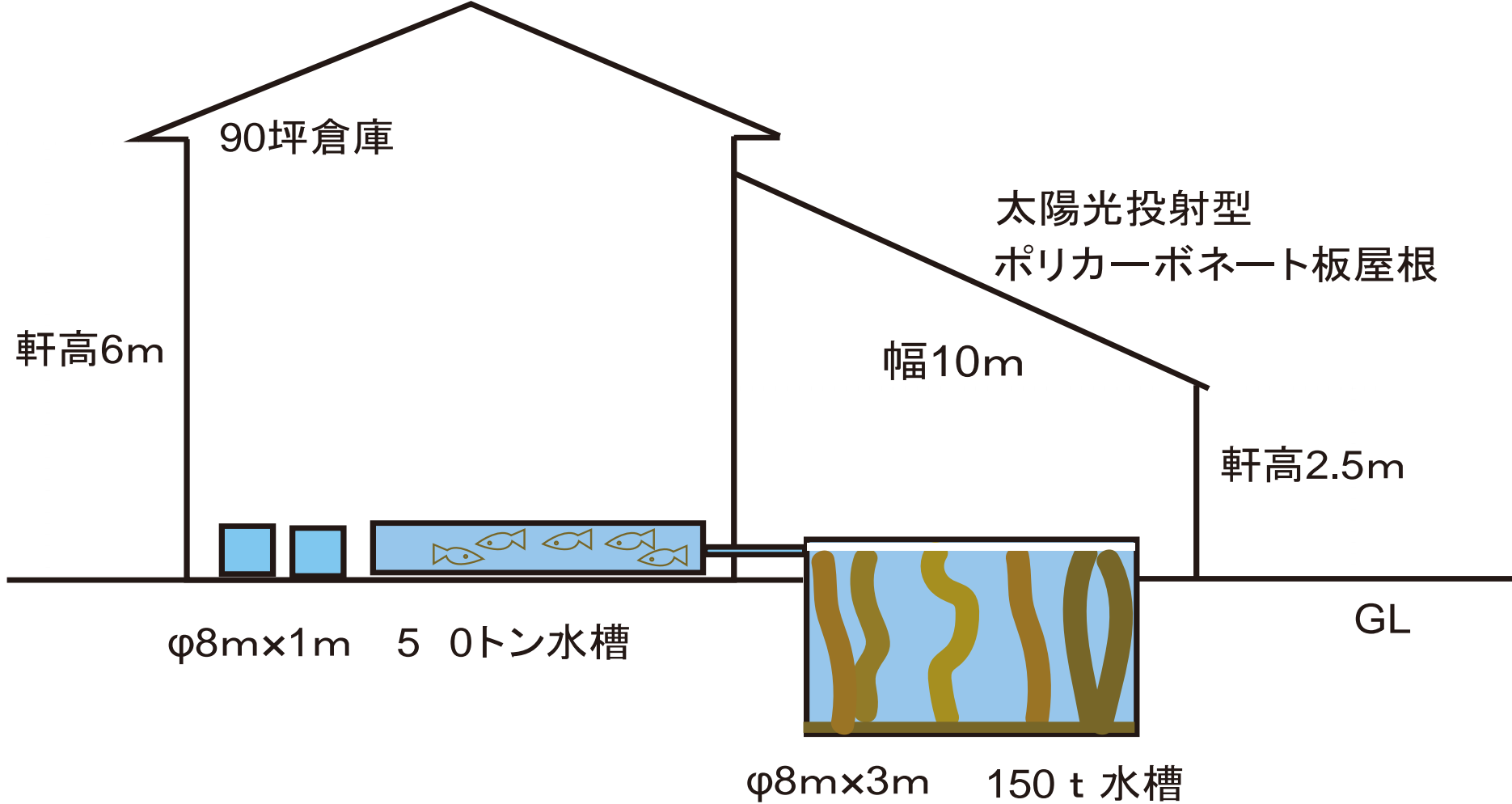


今回のテーマであるマリンポニックスの実用化に向けての、説明をさせていただきます。



# 建屋構造

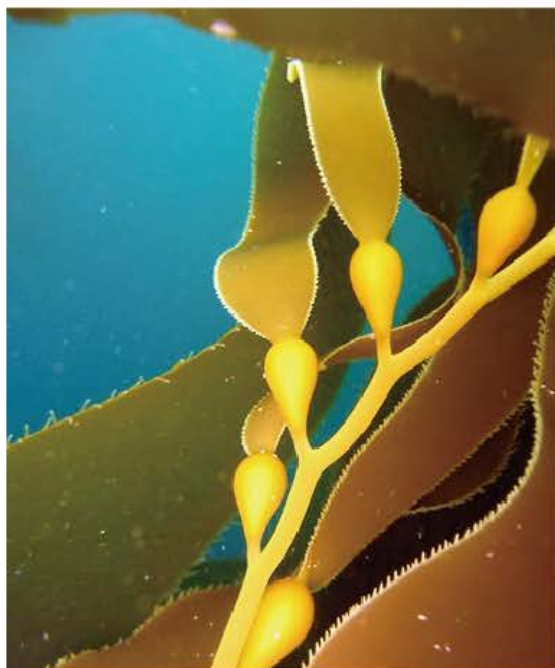
鉄骨、ガルバリウム鋼板



## カーボン固定化事業の概要

- ※培養槽が地下埋設型なので、必要な電力消費量が少なく済みます。
- ※ジャイアントケルプの種苗を、カナダから輸入手続きをしています。食用には不向きですが、魚の飼料として消化吸収率がよい、豊富な栄養素を含みます。特にアルギン酸が多く、血圧抑制効果、コレステロール値の低減効果、動脈硬化予防、天然の植物繊維があります。
- ※1日に 60 cm～100 cm成長します。大きな収量が期待できるジャイアントケルプを、陸上で生産できる体制を目指します。
- ※大気から二酸化炭素を取り出し、濃縮する装置も開発します。「陽イオンを担持した人工鉱石」+「高分子ポリマー」で可能にします。





ジャイアントケルプ孢子  
孢子体寿命は4～8年



ケルプ海藻林  
全長50m～60m



閉鎖循環型養殖装置で  
アオサとマクサ実験中

ご清聴ありがとうございました。